

JABEE認定プログラムについて

「JABEE認定プログラム」とは、当農業環境工学科の学生諸君を「国際的に認知された農業工学関連技術者」として世に送り出すための制度です。皆さんには、このJABEE認定プログラムを修了することによって、世界水準の技術者として活躍することが期待されます。

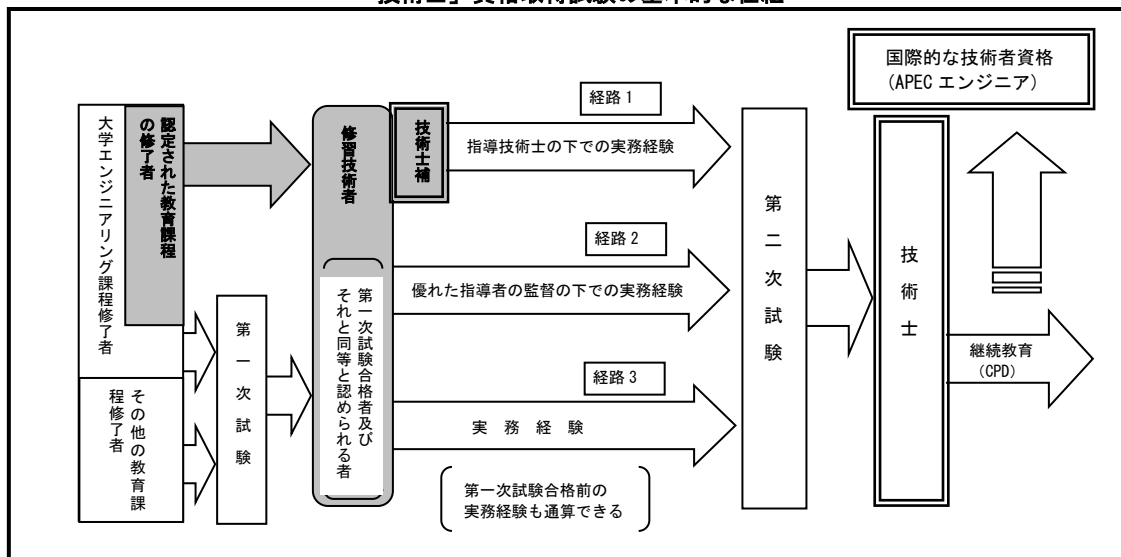
1. JABEEってなあに？

JABEEとは、Japan Accreditation Board for Engineering Education の頭文字をとったもので、「日本技術者教育認定機構」を意味しています。この組織は、各大学・学科のプログラム（カリキュラム）が、技術者教育プログラムとして、国内外問わず社会の要求水準を満たしているのかどうかを公平に審査・評価し、その水準を満たしていればそのプログラムを「認定」する非政府系外部機関です。プログラムが「認定」されれば、プログラム修了学生は、国際水準の技術者資格取得の出発点になると認識されています。JABEEは1999年に発足し、本認定作業が2002年から始まったものです。農業環境工学科は、この分野では他校に先駆けて2003年度に認定を受けました。これまでの卒業生の中から、2004年3月16名、2005年3月29名、2006年3月23名、2007年3月27名、2008年3月34名、2009年3月32名、2010年3月34名、2011年3月26名、2012年3月43名、2013年3月34名、2014年3月31名、2015年3月35名、2016年3月31名、2017年3月32名、2018年3月26名、2019年3月45名、2020年3月35名、2021年3月31名、2022年3月37名、2023年3月28名がJABEE認定プログラムを修了しています。

2. プログラム修了生と「技術士」資格

JABEEプログラムの修了は「国際的に認知された農業工学技術者」としての認定にとどまらず、「技術士」資格に関連する特典も得られます。つまり、JABEE認定プログラム修了者には技術士資格の第一次試験が免除されます。技術士とは、「技術士法」に基づいて行われる国家試験（技術士第二次試験）に合格し、登録した人だけに与えられる称号です。技術系の会社では、この資格を持った人を何人抱えているかで、会社の格付けが決まるため、給与・人事面で技術士は大いに優遇されることとなります。したがって、JABEE認定プログラム修了生は、就職・採用の際にもきわめて有利になることが予想されます。

「技術士」資格取得試験の基本的な仕組



- 経路1 技術士補として登録し、指導技術士の下で4年を超える期間の実務経験を積む経路
- 経路2 優れた指導者の監督の下で4年を超える期間の実務経験を積む経路
- 経路3 7年を超える期間の実務経験を積む経路（第一次試験合格前の実務経験も通算できる）

さらに、JABEE認定プログラム修了者は、指導技術士の名を添えて(社)日本技術士会に申請すると、直ちに技術士補として登録されます。これは技術士法で保護された名称であり、英語では、Associate Professional Engineerになります。つまり、JABEE認定プログラム修了者は、申請するだけで名刺に、As.P.E.Jpと書くことができ、国際舞台では期待以上の効果を発揮するものと考えられます。

3. JABEE認定プログラムってどういうもの？

本学科では、修了生が農業工学分野に関する基礎と専門の知識、さらには諸知識をベースにした総合的な判断力と問題解決能力を持ち、将来は国際的にも通用する農業工学技術者となることのできる能力の修得をめざして、具体的な学修・教育目標を掲げ、教育を行っています。

本学科は、(a)水土環境工学コース (J1)、(b)食料生産システム工学コース (J2) の2つのコースを設けていますが、いずれのコースに所属しても、卒業時にはJABEE認定プログラムを修了したことになります。

本学科の卒業生には卒業証書に加えて、「農業工学関連分野JABEE認定プログラム修了」の証書が与えられます。卒業と同時に認められるプログラム修了は、入学前の努力ではなく、入学して何を学んだかを証明するものであり、卒業後、技術の社会で活躍していく際の大きな支えになるものです。

4. プログラムの履修

2年生の前期開始時に、コース分属を仮決定しますが、正式なプログラムは1年入学時から始まっています。履修者は今から、卒業要件を念頭に、科目履修計画を立ててください。

なお、毎年JABEE認定プログラムの説明会を実施する予定ですので、必ず出席してください。